

若竹

第八十一号



東日本大震災被災神社復興支援事業

愛媛県神道青年会

事務局 〒793-8555

愛媛県西条市西田甲797 石鎚神社 内

TEL 0897-55-4044 FAX 0897-55-7242

URL <https://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



新年の御挨拶



愛媛県神道青年会

会長 野口 貴令



明けましておめでとう御座います。

先ず以て、新春を迎え謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄を御祝い申し上げますと共に、各御社頭の御隆昌と皆様方の御多幸を御祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が感染法上の五類感染症に緩和され事業を再開していく中で、断続していた三年間の重みとその再開の難しさを肌で感じている次第で御座います。

その事を鑑みますに、断絶していた愛媛

県神道青年会を再発足された先輩諸兄には益々頭が下がる思いと共に、会長職の職責の重みを痛感致しております。

さて、そういった中でも今年度は既存事業のみでなく、大洲の池田棟梁という大工の方と御縁を得て、その方が継続的に東日本大震災で被災した神社へ社殿を奉納されており、今回が最後のお社を奉納されるという事で、その助勢に向かう東日本大震災被災神社復興支援活動を行いました。二月には会員親睦事業としてスキーによる雪山での親睦会も予定しています。

また、既存事業としては参拝啓発ボスターの作成、周年で作成した移動社務所の活用等を行っており、年度末には慰問神楽を開催する予定です。

慰問神楽は会員人口の減少、雅楽未経験者の増加により現役会員のみでは事業継続が危ぶまれ、先輩諸兄のお力添えを頂いてなんとか開催に漕ぎ着けて参りたいと思っておりますので、何卒御助力頂けましたら幸いです御座います。

青年会活動を通して得る学びが十年後、二十年後に自分の奉仕する神社で役に立つ、それが延いては神社界の興隆に繋がる、そんな青年会活動を目指しております。

未参加会員の皆様、歓迎致します。是非

青年会にて我々と盃を交わし、事業を行って汗を流してみませんか。

結びに当たり、御社頭の御隆盛と皆様方の御健勝をお祈り申し上げますと共に、本年が良き年となりますように心から御祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせて頂きます。



新年あけましておめでとうございます。

夏期セミナー



【報告者】
愛媛県神道青年会会長
松山市 伊佐爾波神社
欄 宜 野口 貴令

令和五年八月二十二日から二十三日にかけて神社本庁にて『不易流行』しなやかな変化、恐れずに前へ』と題しまして、神道青年全国協議会主催の夏期セミナーが開催され、当会より私、野口他一名で参加致しました。

第一講では愛媛県神道青年会の再発足五十周年でも御講演頂きました神社巡拝家の佐々木 優太先生より、『全国一万社を巡った僕が感じた神社の未来』と題して御講演頂きました。

基本的な流れは愛媛で御講演頂いた内容でしたが、神青協側よりもっと突っ込んだ講演にして欲しいという依頼があったというので、その分刺激で興味深い講演



でした。

第二講では訪日外国人ガイドの斎田 友紀先生より「国内・訪日旅行者にとって神社とは」と題して御講演頂きました。体験型コンテンツを用意する等、訪日旅行者目線での御講演でしたが、神社としてどこまでそういった要望に沿っていくのか考えさせられる御講演でした。

第三講では株式会社GHI BLI代表取締役の坪内 知佳先生より「ファーストベングイン」〜シングルマザーと漁師たちが挑んだ船団丸の奇跡〜と題して御講演頂き、未経験者であっても先陣を切って行う事で、リスクはあれども新しい道を開拓出来る事を学ばせて頂きました。我々青年神職も斯界にとってのファーストベングインと成れればと思います。

神道行法錬成会



【報告者】
愛媛県神道青年会会長
松山市 伊佐爾波神社
欄 宜 野口 貴令

令和五年九月五日、高知県の大川上美良布神社にて神道青年四国地区協議会主催第二十三回神道行法錬成会が開催されました。

生憎、諸事情重なりまして当会よりは私、野口のみ参加となりました。

現場の大川上美良布神社は細かい彫刻が多数刻まれた本殿を持つ荘厳な神社であり、またアンパンマンミュージアムのすぐ近くの神社という事もある、故やなせたかし氏がデザインした干支の描かれた絵馬がある等、全国の漫画家から篤く崇敬を受ける神社でした。そちらで正式参拝を行ってから日ノ御子へと車で移動し、西川明秀道彦先生、吉野慶道彦先生の御指導の下、川辺で禊を行いました。その後、大川上美良布神社へ戻り、拝殿にて鎮魂行事を行いました。川辺に居た頃は天気良かったのですが、鎮魂行事を進めていく内にいつしか外は大雨となり、正しくバケツを引っ繰り返したような豪雨となり、川での禊に合わせて益々罪穢れが削ぎ落とされる気持ちでした。

末筆乍ら御指導頂きました西川、吉野 両道彦先生、会場をお貸し頂きました大川上美良布神社の宮司様、御準備頂きました高知県神道青年会の皆様にご心より御礼申し上げます。



先頭に立ち道を開きます。

創立七十五周年記念事業 国家平安祈願祭 (沖縄県波照間島)



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
松山市 厳島神社
榎 宜 柳原 永祥

九月二十六日、日本最南端の有人島である沖縄県の波照間島にて、全国より若手神職約七十名が集い「波照間之碑」「聖寿奉祝の碑」の清掃奉仕と共に、国家平安祈願祭が斎行され、愛媛県を代表して参列致しました。

来年度七十五周年を迎える神道青年全国協議会は設立した昭和二十四年より沖縄県の本土復帰運動に取り組んでおり、昭和四十七年五月十五日、祖国復帰をしたその日に全国の銘石を



持ち寄り、特殊法人南方同胞援護会の財政的援助を受けながら友好諸青年団体と大同団結し「波照間之碑」を建立しました。碑建立の際、産業開発青年部がブルドーザーを島へ持ち込み、ついで飛行場を造成して開港した一番機には当時の神青協会長らが搭乗しました。序幕式が行われた五月十五日は島民の八割にあたる約六百人が参列し、島民挙げて準備から後片付けまでされたそうです。昭和六十年には昭和天皇御在位六十年を記念して国旗プレートを埋め込んだ「聖寿奉祝の碑」を建立しております。その後、周年ごとに祭典を斎行してきました。

波照間港旅客ターミナルに到着した後、「皆さん同じような格好をしていますか？」と年配の方に話しかけられました。碑の清掃と国家平安祈願祭をすることを伝えたところ「私もあの碑と一緒に建てたんです。」と言われました。驚きと共に長い歴史の繋がりを感じ、とても嬉しかったです。

「波照間之碑」の中心には、南方同胞援護会会長・元早稲田大学総長である大濱信泉書の「波照間之碑」と刻まれた黒御影石製の富士山をかたどった主碑があります。その前方には二匹の龍が地面をはっているものがあり、一説には二匹は龍ではなく蛇で

陰陽の交わりを表しており、西側に頭があるものは中国に睨みをきかせているとのこと。年月の経過とともに砂が上がり、雑草が生えている状態でしたので、南国の照り付ける日差しの中、汗だくになって作業を行いました。

その後、領海侵犯の絶えない海域を間近に望む碑の前に、我ら青年神職が心ひとつに我が国と世界の平和を祈念致しました。愛媛神青再発足五十周年記念講演の講師を務めた佐々木優太先生も参列し、YouTubeにて当時の状況をアップしていますので、どうぞご覧ください。



神社ソムリエの
あやかりチャンネル



神青協ホームページ
祈願碑

大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること。

神道青年四国地区協議会 親睦会顧問会



【報告者】

愛媛県神道青年会 副会長
西条市 石鎚神社
権欄宜 曾我部 洋輔



令和五年十二月四日、神道青年四国地区協議会親睦会顧問会が徳島県にて開催されました。本会から野口会長、田窪、柳原両監事、曾我部副会長、が参加しました。親睦会では藍の館にて藍染め体験と館の見学、徳島県は藍染めに必要な材料すくも



の原産地で、徳島で製造されるすくもは阿波藍と呼ばれており、藍染め体験では真っ白なハンカチを阿波藍で染めました。藍染めは液体に浸けている時に染まるのではなく、空気にふれている時に酸化して色が変わり、色が最も美しいのは染料を水で落とす時と言われています。顧問会は徳島市内にある料亭なつめにて開催され、顧問四名と共にこれからの青年会のありかたを語りました。

今回の研修で初めて藍染めを体験しました。皆様も日程が合えば出席し、様々なものに触れて、研鑽を積んで頂ければと思います。



様々な経験を通して知見を広めていきましょう。

移動社務所実績報告



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
伊方町 九町八幡神社
禰宜 菊池 崇史

令和五年七月三十一日(月)に九町八幡神社において夏越祭を催した際に移動社務所を活用しました。私が子供のころは出店等もいくつか出店し賑やかなものでありましたが、十年以上前からは出店がなくなり、閑散としたものになっていましたので、少し活気を戻してみたくてこの度移動社務所を導入しました。例年だと茅の輪を潜って参拝して終わっていましたが、参拝の帰りに移動社務所に興味をもって帰りに立ち寄っていただき、想定を超えるお守りや御朱印を頒布することができました。



活動先…九町八幡神社
申請者…同神社 禰宜 菊池 崇史
《活動実績》
厄除け・交通安全お守り 二十二体
消しゴム御朱印 十枚



移動社務所申請書



移動社務所申請書は上記QRコードからダウンロードして頂けます。

第五十二回 定時総会・懇親会



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
松山市 勝岡八幡神社
権欄宜 武智 正訓

八月九日(水)午後五時よりリジエール松山に於いて、野口貴令会長をはじめとする十五名の会員出席のもと、第五十二回定時総会が開催されました。

野口会長の挨拶の後、議長に選出された後藤正幸さんの司会進行により、令和四年度会務報告、同年度会計・監査報告、令和五年度活動計画及び予算案の報告が行われました。

今年度の活動計画についての議事では、観月神楽の開催に関する質疑があり、東日本大震災被災神社復興支援



ることを考慮して、コロナ禍前と同様の予算編成にした旨の説明がありました。全ての議事に於いて、異議なく承認され、滞りなく閉会となりました。

閉会后、同会場にて、三輪田泰生庁長様をはじめとする六名の御来賓の方々にも御臨席賜り、令和元年以来四年ぶりの懇親会が開催されました。二十一名の参加者は、終始和やかな雰囲気ですべての参加者が、愛媛県神道

私は、御来賓の先生方から、神職として奉仕する上で軸となる考え方や在り方を、会員の先輩方から、啓発方法や社務に関する工夫などを教えて頂きました。本会に初めて参加させて頂きましたが、愛媛県神道

事業との日程調整の都合で見送っている旨の説明がありました。また、今年度の予算案についての議事では、会議費や研修教化に関する項目について質疑があり、コロナ禍で中止・縮小されていた会議・研修が今年度から通常開催されることを考慮して、コロナ禍前と同様の予算編成にした旨の説明がありました。全ての議事に於いて、異議なく承認され、滞りなく閉会となりました。



のほどよろしくお願いいたします。

青年会の多岐に渡る活動を知るとともに、諸先輩方とお話させて頂く貴重な機会となりました。今後も、神道青年会の活動に積極的に参加させて頂き、研鑽を積んで参りたいと思いますので、御指導、御鞭撻

各会員の参加をお待ちしています。

令和四年度 会務報告

令和四年

四月

一日

第一回 役員会

令和三年度監査会

二十日

神道青年四国地区協議会

第一回 役員会

五月

七日

第二回 役員会

十八日

愛媛県神道青年会再発足五十周年奉告祭

第五十一回定時総会

六月

八日

神道青年四国地区協議会

第二回 役員会

定例総会並びに役員研修会

十五日

第三回 役員会

会報「若竹」第七十八号 発刊

七月

一日

第四回 役員会

二日

神道青年四国地区協議会

第三回 役員会

三十日

神道青年全国協議会

三十一日

令和四年度 夏期セミナー

九月

七日

第五回 役員会

十二日

神道青年四国地区協議会

第二十二回神道行法鍊成会

十三日

神道青年四国地区協議会

第四回 役員会

十五、十六日

参拝啓発ポスター発送作業

起 令和四年 四月 一日
至 令和五年 三月三十一日

【ウエブ開催】

【松山市・厳島神社】

【徳島県神社庁】

【ウエブ開催】

【愛媛県神社庁】

【香川県・高松国際ホテル】

【全】

【ウエブ開催】

【ウエブ開催】

【ウエブ開催】

【ウエブ開催】

【徳島県・鳴門グランドホテル海月】

【全】

【伊豫豆比古命神社】

十月

十四日

第六回 役員会

【ウエブ開催】

十一月

九日

神道青年四国地区協議会

【徳島県・徳島グランヴィリオホテル】

第五回 役員会

第七回 役員会

【ウエブ開催】

十二月

八日

神道青年四国地区協議会

【愛媛県・炎の里、助格】

親睦事業・顧問会

第六回 役員会

【砥部町文化会館】

第八回 役員会

【ウエブ開催】

令和五年

一月

一日

会報「若竹」第七十九号 発刊

二月

二十四日

第九回 役員会

【ウエブ開催】

三月

二十七日

新年研修会並びに新年互礼会

【愛媛県護国神社】

四月

十一日

愛媛県神道青年会再発足五十周年記念事業

【沖縄県糸満市荒崎海岸】

五月

十三日

沖縄県戦没者遺骨収集

【西条市橘小学校】

六月

十四日

慰問神楽

【ウエブ開催】

七月

十六日

第十回 役員会

【ウエブ開催】

八月

二十日

神道青年四国地区協議会

【徳島県・徳島県神社庁】

九月

八日

神道青年全国協議会

【徳島県・徳島グランヴィリオホテル】

十月

九日

令和四年度 中央研修会

【湯神社・ハイブリッド開催】

十一月

十五日

第十一回 役員会

【湯神社・ハイブリッド開催】

十二月

十四日

第十二回 役員会

【湯神社・ハイブリッド開催】

一月

十九日

愛媛県神道青年会再発足五十周年記念式典

【ANAクラウンプラザホテル松山】

二月

十五日

第十二回 役員会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

三月

八日

神道青年全国協議会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

四月

十四日

第十二回 役員会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

五月

十九日

第十二回 役員会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

六月

二十四日

第九回 役員会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

七月

二十七日

新年研修会並びに新年互礼会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

八月

十三日

沖縄県戦没者遺骨収集

【ANAクラウンプラザホテル松山】

九月

十六日

慰問神楽

【ANAクラウンプラザホテル松山】

十月

二十日

第十回 役員会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

十一月

二十四日

第九回 役員会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

十二月

二十八日

新年研修会並びに新年互礼会

【ANAクラウンプラザホテル松山】

各事業に御協力下さいました皆様ありがとうございました。

愛媛県神道青年会 令和四年度一般会計歳入歳出決算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年7月31日

単位:円

歳入の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	450,000	456,000	6,000	年会費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,422,000	1,597,000	175,000	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑 収 入	16,841	3,000	△ 13,841	全国協議会夏期セミナー参加費返金
5 繰 越 金	561,159	561,159	0	令和3年度より
歳入合計	2,650,000	2,817,159	167,159	

歳出の部

単位:円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	150,000	78,591	△ 71,409	グループウェア契約料・zoom契約料
2 研 修 教 化	300,000	420,531	120,531	研修会費・研修会参加費
3 事 業 費	300,000	45,000	△ 255,000	参拝啓発ポスター頒布事業・移動社務所実装事業・災害用品購入
4 広 報 費	770,000	324,436	△ 445,564	若竹78号/79号作製費及び発送費・HP管理費
5 事 務 費	160,000	198,650	38,650	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	0	△ 10,000	
7 交 通 費	500,000	430,000	△ 70,000	神青協定例総会・神青協出向役員旅費補助・会長手当
8 慶 弔 費	80,000	25,000	△ 55,000	慶弔金・電報代
9 分 担 費	300,000	256,000	△ 44,000	神青協及び地区協賛出金・各種友好団体年会費
10 雑 支 出	70,000	200,000	130,000	特別会計入金
11 予 備 費	10,000	0	△ 10,000	
歳出合計	2,650,000	1,978,208	△ 671,792	

歳入合計 ￥2,817,159 歳出合計 ￥1,978,208 差引残高 ￥838,951

愛媛県神道青年会 会長 田窪大朗 提出

令和5年7月24日

愛媛県神道青年会 令和四年度特別会計(基金)

項 目	金 額	付 記	項 目	金 額	付 記
通常貯金	2,447.49	令和2年度繰越金	諸 費 用	146	払戻振込手数料
繰 入 金	32	利子	繰 入 金	200,000	通常会計より積立入金
分 担 費	300,000	全国協議会 中央研修会 助成金	繰 入 金	914,869	再発足50周年記念事業 残金 入金
雑 収 入	300,000	全国協議会 中央研修会 助成金 払戻	諸 費 用	146	払戻振込手数料
払 戻 金	1,850,000	再発足50周年記念事業繰入金として	合 計	1,712,058	

単位:円

愛媛県神道青年会
会長 田窪大朗 提出

令和5年7月24日

愛媛県神道青年会 令和五年度一般会計歳入歳出予算書

自 令和5年8月1日 至 令和6年3月31日

単位:円

歳入の部

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	450,000	600,000	150,000	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,422,000	1,400,000	△ 22,000	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑 収 入	16,841	1,049	△ 15,792	預金利子他
5 繰 越 金	561,159	838,951	277,792	令和4年度より
歳入合計	2,650,000	3,040,000	390,000	

歳出の部

単位:円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	150,000	500,000	350,000	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協議会・監査会他 グループウェア契約料
2 研 修 教 化	300,000	550,000	250,000	神楽・新年研修会・各種研修会参加助成他
3 事 業 費	300,000	500,000	200,000	福島お社復興支援事業・参拝啓発ポスター頒布事業
4 広 報 費	770,000	350,000	△ 420,000	若竹80号/81号作製費及び発送費・HP管理費
5 事 務 費	160,000	150,000	△ 10,000	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	10,000	0	
7 交 通 費	500,000	600,000	100,000	神青協定例総会・神青協出向役員旅費補助・会長手当
8 慶 弔 費	80,000	50,000	△ 30,000	慶弔金・電報代
9 分 担 費	300,000	300,000	0	神青協及び地区協賛出金・各種友好団体年会費
10 雑 支 出	70,000	20,000	△ 50,000	特別会計積立他
11 予 備 費	10,000	10,000	0	
歳出合計	2,650,000	3,040,000	390,000	

歳入合計 ￥3,040,000 歳出合計 ￥3,040,000 差引残高 ￥0

愛媛県神道青年会 会長 野口貴令 提出

令和5年8月1日

諸先輩方の御協力に感謝申し上げます。

令和五年度 活動計画

令和五年

四月 二十四日	神道青年四国地区協議会	【高知県・セリーズ】
五月 三十一日	第一回 役員会	【石岡神社】
六月 八日	神道青年四国地区協議会	
七月 十六日	第二回 役員会	【愛媛県・今治国際ホテル】
七月 一日	会報「若竹・第八十号」発刊	【湯神社】
八月 二十四日	令和四年度監査会	【湯神社】
八月 三日	第三回 役員会	【石鎚神社】
九月 九日	第五十二回定時総会・懇親会	【リジエール松山】
九月 二十二日	神道青年全国協議会	
九月 二十三日	令和五年度 夏期セミナー	【神社本庁】
九月 五日	神道青年四国地区協議会	
九月 二十三日	第二十三回神道行法錬成会	
六月 六日	神道青年四国地区協議会	【高知県・大川上美良布神社】
六月 二日	第二回 役員会	【全】
五月 十九日	参拝啓発ポスター発送作業	
四月 十九日	第四回 役員会	【高知日賣神社】
三月 二十一日	第五回 役員会	【ウェブ開催】

十一月二十七日 第六回 役員会
十二月 四日 神道青年四国地区協議会
親睦会・顧問会

【徳島県】

十二月

十三日 東日本大震災被災神社復興支援事業

【福島県】

十九日 第七回 役員会

【ウェブ開催】

令和六年

一月 一日 会報「若竹・第八十一号」発刊

二十五日 新年研修会・互礼会

【道後温泉にきたつ会館】

第八回 役員会

【全】

二月 二十七日 第七回中国五県青年神職協議会・

神道青年四国地区協議会 合同会

【岡山県】

二十九日 会員親睦会・交流会【ソルファ・オダスキーゲレンデ】

第九回 役員会

【未定】

三月 七日 神道青年全国協議会

八日 令和五年度 中央研修会

【北海道・札幌プリンスホテル】

二十二日 慰問神楽

第十回 役員会

【未定】

*（日時未定）

移動社務所実証事業

*時局問題への即応

●その他、日程等は役員会にて議案審議

太字のものが愛媛県神道青年会の活動です。
会員の皆様の参加をお待ちしています。

趣味人

神青会員のオフタイム

第十六回



愛媛県神道青年会 理事
松山市 天満神社
欄 宜 大内 兵庫さん

私の趣味は木彫です。自室でお香を焚く為の適当な器を探したものの丁度よいものが見つからず、取り合えず簡単なものでいいやと自宅にあった端材を削りだしたのがきっかけでした。



始めました。しかし彫刻刀は錆や欠けが目立ち、歯が立ちませんでした。鎌用のシャープナーで彫刻刀を研いでみたり、板材を組み合わせて作業板を作成したりと、あれこれと模索していくうちに新しい彫刻刀や鑿(のみ)、木槌、固定具のクランプやミニバイス(万力)、ミニリユーター等々道具が増えていき辞め時をなくしています。(笑)

道具が揃い、自分の手で木がその形を変えていくのはなかなか楽しく、時間を忘れて作業し、気が付いたら五、六時間ほど通して彫り続けることもありました。最初のうちはただ彫るだけだと考えていましたが、木の繊維の向きに合わせて刃を入れなければうまく彫ることはできません、その繊維の向きも節があれば一定ではなくなり、その難しさを痛感しております。

そのような経験をしてからか、社殿の彫刻を改めて見直すとその精巧さや躍動感に驚かされます。どれだけの研鑽の元に彫刻されたのかとその技術力の高さ、表現力に圧倒されて木彫の魅力にますます引き付けられました。

色々と偉そうなことも書いておりますが、実は木彫を始めてまだ数か月というところですので、自分の思うようなものができ



るのはまだまだ先になりそうです。(笑)

この趣味を通しての目標というか夢は彫刻を施した絵馬を作ることです。木彫り細工であればある程度の年月は変わらずにいてくれることを期待して、何代か前の神主が彫った絵馬としてその絵馬を眺めてもらうことができたら良いなと考えています。

思い立ったが吉日です。

御成婚

勝岡八幡神社

権禰宜 武智

正訓
彩乃

去る令和五年十一月二十六日、勝岡八幡神社にて神前挙式を執り行いました。

夫婦で力を合わせて明るい家庭を築いていきたいと思えます。
今後とも御指導、御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



表紙の写真について

今年度の東日本大震災被災神社復興支援事業として、去る十二月十三日(水)に福島県いわき市久之浜町の見渡神社まで御社殿を運搬し納めに行きました。
詳しいご報告は次号以降お伝えいたします。

(副会長 玉井)



玉井副会長、東京下谷神社阿部宮司、野口会長、大洲池田棟梁、見渡神社高木宮司、後藤理事(写真左から、敬称略)

御案内

✳第七回中国五県青年神職協議会・神道青年四国地区協議会 合同会

【日程】令和六年二月二十七日(火・赤口)
【会場】岡山県開催(予定)

✳令和五年度神道青年全国協議会 中央研修会

【主題】未来への礎

【日程】令和六年三月七日(木・先負)
〃 八日(金・仏滅)

【会場】札幌プリンスホテル国際館パミール

【所在地】北海道札幌市中央区南三条西十二丁目

【研修内容】

第一日目

【第一講】

演題…「私たちは『国家の難題』をどう考えるべきなのか」

講師…門田 隆将先生

(作家・ジャーナリスト)

【第二講】

演題…「共感と共創・地域連携の力で道を拓く」

講師…塚原 敏夫先生

(上川大雪酒造株式会社 代表取締役社長)

御成婚おめでとうございます。

第二日目

第三講

演題…「ゼロからのチーム作り」
～常呂から世界へ～

講師…本橋 麻里 先生
(カーリングチーム)

「一般社団法人ロコ・ソラーレ」
代表理事

【参加費】 一名 壹万五千元 (懇親会費含む)
【締切】 令和六年一月二十五日 (木)
必着 (厳守)



札幌プリンスホテル
ホームページ



✽ 神道青年全国協議会
創立七十五周年記念大会

【日時】 令和六年四月二十三日 (火・大安)
午後一時受付

【会場】 明治記念館

【所在地】 東京都港区元赤坂二丁目二番
二十三号

【内容】

【第一部】 【記念講演】 午後二時 蓬萊の間
講師…黒川 光博 先生
(株式会社虎屋 代表取締役会長)

第一部 【記念式典】

第三部 【記念祝賀会】

午後四時 蓬萊の間
午後五時三十分 富士の間

【参加費】 一名 壹万円



明治記念館
ホームページ

✽ 新年研修会

【日時】 令和六年一月二十五日 (木・友引)
午後四時半 開会
午後六時 閉会

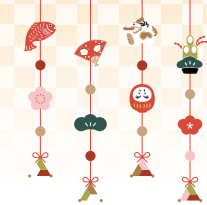
【会場】 道後温泉にぎたつ会館

【所在地】 松山市道後姫塚二一八二

【研修内容】

演題…「クラウドファンディングに挑戦して」
～寄付と支援～

講師…清家 貞文 先生



✽ 新年互礼会

【日時】 令和六年一月二十五日 (木・友引)
午後六時半 開会

【会場】 道後温泉にぎたつ会館

【所在地】 松山市道後姫塚二一八二



にぎたつ会館
ホームページ

✽ 会員親睦会

【日時】 令和六年二月二十九日 (木・友引)
集合 午前十時 ゲレンデハウス前
解散 午後三時

【会場】 ソルフア・オダスキーゲレンデ

【所在地】 喜多郡内子町中川小田深山

電話〇八九二(五二)三三三三

○ご参加される方は一日保険に加入のため、
左記QRコードより必要事項を記入の上、
一月二十日までにご回示願います。なお、
保険費用は青年会が負担いたします。

○当日会場は山中になりますので、防寒対策
の上動きやすい服装及び冬用タイヤ等ご準
備の上ご参加ください。



皆様の参加をお待ちしております。

＊慰問神楽

【日時】 令和六年三月二十二日(金・友引)
十四時開始

【会場】 今治明德短期大学 大講義室

【所在地】 愛媛県今治市矢田甲六八八



今治明德短期大学
アクセス



これまでの事業の様子



令和五年度慰問神楽を上記日程にて行います。

つきましては、今回御参加頂ける方、また次回以降の当会の雅楽関連事業に参加頂ける方を募集しております。

雅楽演奏者の交流や相互研鑽のみならず、これを機に雅楽に触れてみようという方にも御参加頂ければ幸いです。練習のみの参加も歓迎ですので、興味のある方は担当部会長まで御連絡ください。

教化・渉外部会 担当副会長 玉井 正祥
電話 〇五〇―五三三四―一一七六

雅楽経験者の方、興味がある方の御連絡を心待ちにしています。